第４学年国語科学習指導案

日　時　11 月 29 日（金）
指導者　教諭　菖蒲彩絵
場　所　４年２組教室

1　単元名　物語の終わり方について考えよう「世界一美しいぼくの村」

2　単元について

（1）教材観

本単元では、物語の終わり方について考え、考えたことを相手に伝える。「世界一美しいぼくの村」は、アフガニスタンのパグマンという小さな村を舞台にした物語であり、少年ヤモの一日を通して家族愛や郷土愛が描かれている。物語は戦争の影が感じられるが、生き生きと日常を送る人々が描かれている。そのため最後の一文の衝撃は大きく、戦争の悲しさが強く感じられる結末となっている。そこから、最後の一文や文章がもつ意味について考え、一人一人の感じ方が異なることを実感することに適した教材であると言える。

（2）児童観

本校では、全国学力状況調査において、全国平均を上回っている。しかし、佐賀市全体で見ると、「登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる」設問については、正答率が全国平均を下回っている。児童はこれまで、登場人物の心情や人物同士の関係を捉えたり、物語の題名の意味について考えたりする学習に取り組んできた。気持ちグラフや心情曲線を使い、登場人物の心情を読み取ってきたが、叙述を基に捉えたり、根拠を説明したりできる児童は少ない。また、話し合い活動も積極的に取り入れることで、自分の考えを友達に伝えることができる児童は増えてきたものの、根拠を示して説明することはできていない。また、自分の意見をただ一方的に述べるだけになっており、聞き返したり、反論したりするような学びが深まる話し合いにはまだ達していないため、本時では、より深い話し合い活動となるよう反論や反論に対する答えも考えさせる。さらに本文のどこを読んでそう考えたのか、教科書に印をつけながら根拠となる部分を明らかにしていく。

（3）指導観

本単元では、叙述を基に、自分の考えを相手に伝えることをねらいとしている。そのため、単に自分の感想や考えだけで最後の一文の意義を捉えるのではなく、教科書本文の叙述や調べたことを基に意見をもつ必要がある。そのため、児童が出した「問い」の答えを調べる時間をしっかり設けることで、戦争の背景や作者についても丁寧に調べていく。また、本単元の学習ではスカイメニューの「ポジショニング」を活用し、自分の考えや友達の考えを一目で捉えることができるようにする。児童が、物語について叙述を基にした根拠のある意見をもつことを目指し、自分の意見と相手の意見を比べることで感じ方や考え方の違いを体験することができると考える。また、「ポジショニング」を活用することで、自他の考えの変化についても捉えることができるため、考えの深まりを実感させたい。

3　単元の目標

物語の終わり方について、感じたことや考えたことを文章にまとめることができる。

4　単元の評価規準

・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。
【知識及び技能】

・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。　【思考力・判断力・表現力】

・進んで物語の終わり方について考え、学習の見通しを持って考えたことを伝え合おうとしている。　【主体的に学習に取り組む態度】

5　単元計画（全 10 時間）（本時 8/10）

次	時	主な学習内容（◎）	指導上の留意点（〇）と主な評価規準（◆）
一	1 2	◎単元の見通しをもつ。 ◎物語を通読し、問いをもつ。	〇問いをもつことができるように、初発の感想に不思議に思ったことや疑問を書くよう促す。
二	3 4 5 6	◎物語の終わり方について考える。 ◎場面ごとの内容を捉え、登場人物の心情について考える。	〇自分の感想や心情ではなく、叙述を基に考えることができるようにする。 〇気持ちグラフや色を使って登場人物の心情を捉えることができるようにする。
三	7 8 9 10	◎物語の終わり方について、友達と考えを交流する。 ◎友達と意見交換をし、再度物語の終わり方について考える。 ◎学習のふり返りをする。	〇文型を提示し、自分の考えを友達に伝え合うことができるようにする。 〇反論意見も想定させることで、さらに説得力のある話し合い活動を目指す。 〇本時のみにとどまるのではなく、物語の終わり方について考えることの面白さを実感させる。

6　本時の学習（8 /10）

（1）　本時の目標
進んで物語の終わり方について考え、感じたことや考えたことを相手に伝えることができる。(主体的に学習に取り組む態度)

（2）　本時の展開

学習活動	教師の指導及び支援　評価（□）支援（支）	備考
1　物語の内容を想起する。 2　めあてを確認する。	〇登場人物や内容を思い出すことができるようにする。 〇活動の見通しをもつことができるようにする。	
めあて　物語の終わり方について考え、自分の考えを友達に伝えよう。		

3　最後の一文について自分の考えをまとめる。	○物語の終わり方について、「あり」か「なし」か叙述を基に考えることができるようにする。 ○教科書本文に戻りながら意見をまとめるよう促す。 ○予想される反論についても考えることでより深い話し合いになるようにする。	○「スカイメニュー」ポジショニングを活用する。
4　友達と交流し、自分の考えを深める。	○友達との交流を通して、自分の意見が変わっても良いということを伝える。	
5　全体共有をする。	○児童の端末で画面を共有し、自分や友達の意見の変化を見ることができるようにする。	
6　本時の学習を振り返る。	○物語の終わり方について着目する面白さを感じることができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 B　物語の終わり方について考えたことを文章にまとめ、相手に伝え合おうとしている。〈観察〉〈ワークシート〉 (支) モデルを提示したり、話形を示したりする。	